

都市再生整備計画(第2回変更)

やひこちく
弥彦地区(第二期)

にいがた やひこむら
新潟県 弥彦村

平成28年 1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

新潟県	新潟県	市町村名	やひこむら 弥彦村	地区名	やひこまち 弥彦地区(第二期)	面積	958.7 ha
計画期間	平成	25	年度	～	平成	29	年度
				交付期間	平成	25	年度
					～	平成	29
							年度

目標

大目標: 地区内のまちづくり資源を活かしたにぎわいの形成と、減少が見込まれる定住人口の維持を図り、「にぎわいのある住みよい街」の実現を目指す。

目標1: 地域の観光資源である彌彦神社周辺の観光機能を強化し、温泉街と一体的な観光地を整備し、交流人口の増加を図る。

目標2: 安全で快適な住環境の形成とあわせて定住の受け皿を整備し、定住人口の減少を抑制する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

弥彦村は、県庁所在地である新潟市、次いで大きい長岡市街から車で1時間程度と県内主要都市と隣接しているものの、霊峰弥彦山をはじめ、豊かな自然に囲まれたまちであり、観光地や工業団地などの拠点が点在している。

これらの特性を活かして住みよいまちづくりを進めているが、近年は微増傾向にあった定住人口がピークを迎え、今後は減少に転じる見込みである。特に若年層の人口減少に伴い、地域のコミュニティは高齢化が進行しており、今後は地域コミュニティの維持を図る必要があることから、定住人口の減少を抑制することが課題となっている。

また、地域の様々な活動を支える道路は、幹線道路などの主要道路を除く多くの進路で歩車分離されておらず、一部の地域で排水不良がみられるなど、都市基盤整備の改善などの安全で快適な生活環境の確保が必要となっている。

まちづくりの面においては、弥彦山のふもとにあり、北国街道の宿場町でもあった彌彦神社周辺の温泉街があり、情緒豊かな歴史的資源として、これらの資源を活かしたまちづくりを進めており、近年は回遊性を促進させるための道路環境整備など、ハード整備を中心に整備を進めている。近年はこれらの情緒性と歴史性をテーマとした「弥彦浪漫パワースポット」と銘打ち、観光協会とともに観光客の受け入れ強化に取り組んでおり、イベント等の開催を通じて、集客に努めてきた。

一方、弥彦村では戦後間もない頃からスポーツ振興に取り組んでおり、村民体育祭や弥彦ワールドカップと称する全村民を対象とするスポーツイベントや高校駅伝大会を実施してきた。

このような中、弥彦村では第5次総合計画を平成21年に策定し、「むらづくりの活力を生み出すこと」「むらづくりの推進力を高めること」を基本課題として、自立性の高いまちづくりを進めており、定住人口の確保と、観光産業の活性化を図ることが強く求められている。

そのため、これらの拠点を活かしつつ、住民のコミュニティ活動を支える環境を確保することで、安全で快適な暮らしやすい住環境を形成するとともに、観光客の受け入れを強化し、にぎわいのあるまちにすることで、定住人口の減少傾向の抑制とあわせて観光客の交流人口の増加を図ることが適切と考えられ、これまで弥彦温泉のある弥彦地区や商業施設・公共施設が集積し、住宅団地開発が進められている矢作地区、桜井郷温泉があり高齢者施設の整備が進められている麓地区、大戸工業団地がある大戸地区それぞれのまちづくりが、並行して順次進められている。

なお、本地区においては、平成19～23年度において弥彦地区都市再生整備計画(第一期計画)で、人口増加に向けた住宅地整備や彌彦神社周辺の修景及び回遊性向上に向けた公共施設の整備等に取り組み、目標としていた定住人口や交流人口の増加はみられたものの、人口減少時代の社会潮流を見据えると、本地区でも人口減少に転じる見込みがあることから、引き続き良好な市街地環境の形成が求められている。

課題

○生活しやすい魅力的な定住環境を整備し、定住人口の減少傾向を抑制する必要がある。

・定住の拠点において、良好な住環境を確保した住宅地の整備を進める必要がある。

・スポーツ活動などの地域活動を支える施設環境の整備による、地域コミュニティ活動の促進が必要である。

・安全で快適な住環境形成を図るための都市基盤整備が必要である。

○歴史的観光資源を活かしたにぎわいの形成を図るため、交流人口の増加を図る必要がある。

・地域活動の交流拠点や観光交流の拠点となる施設の整備を進める必要がある。

・彌彦神社周辺等の情緒性や回遊性を高める市街地環境を整備し、地域の魅力向上を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

弥彦村第5次総合計画が掲げるむらづくりの将来像である『人を育み 地域かがやく 心ふれあう 共創のむら 弥彦』の実現を図るために、定住促進、交流促進の拠点整備とあわせて、交流を支える環境整備を目指す。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
定住人口	人	村の総人口	住宅地の整備、定住環境の整備により、人口減少傾向を低減する	8,660	平成24年度	8,450	平成29年度
交流人口	万人/年	弥彦村への観光入込客数	彌彦神社周辺の回遊空間整備や交流拠点整備により、観光入込客数を増やす	266	平成23年度	273	平成29年度
交通事故発生件数	件/年	村内での交通事故件数	安全な道路空間の形成により、交通事故を減少する	159	平成23年度	143	平成29年度
-							
-							

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1) 方針1: 定住を促進する住環境の整備</p> <p>ア. 次世代向け住宅地の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内の住宅地のモデルとなるような良好な住宅地の形成に向けた都市基盤施設を整備する。 <p>イ. 健康づくりの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村民によるスポーツ活動を振興し、新旧住民の交流を通じたコミュニティ意識の形成、健康づくりを支える環境を整備する。 <p>ウ. 良好な住環境の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしやすい安全で快適な生活環境を確保するため、都市基盤施設の整備を行う。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路事業(大戸峰見線、麓一の坂線、弥彦上泉線、村道広域幹線10号 他/村) ○地域生活基盤事業(地域防災施設(矢作雨水、美山雨水)/村) ○地域生活基盤事業(広場(弥彦駅前広場)/村) ○高質空間形成施設(大戸小学校線ほか消雪施設 他/村)
<p>2) 方針2: 交流空間の整備</p> <p>ア. 交流支援施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光産業の活性化に向けて、来街者や住民の交流を促進するため、観光交流センター等の交流を支える施設を整備する。 ・地域資源を活かした回遊性の向上を図るため、散策路等の整備を行う。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高次都市施設(観光交流センター/村) ○高質空間形成施設(蛸げやき・聖人清水～杜の道散策路 他/村) ○地域生活基盤事業(広場(弥彦駅前広場)/村)
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

弥彦地区(新潟県弥彦村)	面積	958.7 ha	区域	紛穴、佐渡小屋、矢作、美山、川崎、村山、東境江、麓、観音寺、矢楯、走出、弥彦、井田、中山、山崎、山彦の各一部
--------------	----	----------	----	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

